

はと 鳩の峰

2007年(平成19年)9月15日

第5号



荒尾岳から望む富岡方面

荒尾岳

高浜の南西に位置した荒尾岳は、標高三二六メートルの山です。ここは江戸時代富岡代官所支配の遠見番所、兼烽火場のろしとして万治三年(一六六〇)下番二名を置いて、異国船の見張りを強化するため設置したのが最初ですが、後には、西平迫に負かせ見張りを続けてまいりました。この場所には烽火をあげた石囲いが残っております。また、六十数年前までは、樹齢百年を越した松があつて、「千本松」の異名を持った、ここの古い松は、頂に櫛を置いたように、遠くからも山の輪郭をはっきりと見ることができました。

昭和三十年頃から松喰い虫に侵され、今は跡形もありませんが、元々ここの松は、二百年前烽火場の風避けのために周辺に植えたということです。

この場所は市の史跡文化財に指定され、荒尾岳公園として市民憩いの場となっております。

八月十五日（お盆の送り日）高浜地区が一年で最も賑う「精霊流し」
 今年は新しい企画での精霊流しの実行です。

「環境問題や漁業被害が問題視される中、高浜の精霊流しをどうするか？」と言う、大きな問題に対し、アンケート結果（鳩の峰3号参照）を基に、推進事項やセレモニーなどの企画を約一年間かけて取り組んできました。

今年から精霊舟を流さないにもかかわらず、多くの方が足を運んでくださり大盛況だったと思います。大げさでなく、千人近い賑わいではなかったでしょうか。アンケートにあった「高浜が賑う数少ない行事、止めてしまうのは寂しい」の意味を実感しました。今回の『高浜精霊流し』は満足のできる内容ではなかつ



灯籠



お見送り

たかと思えます。これも、初盆を迎えられた家や関係者の方、実行委員としてご協力していたいただいた方々のご理解のおかげです。ありがとうございました。いくつかの反省もありましたが、今後の『高浜づくり』につなげていければと考えています。

余談ですが：翌日、船で沖に出てみましたが、例年に比べて海上に浮ぶゴミの量が少なく感じました。少ないと言っても、まだまだ人間が捨てたゴミは有ります。普段の生活から取り組む必要があると思います。



隣峰寺住職より読経
 隣峰寺梅花講の皆さんによるご詠歌



整列した精霊舟

高浜の川や海の環境を良くするために、下水道管（幹線）の布設工事が行なわれています。

下水道工事概要

天草支所庁舎建設

かねてからの念願だった庁舎建設が6月12日ようやく着手された。現在基礎工事が終わり本体骨組みを行なっています。平成20年2月8日の竣工、その後2月中に庁舎移転を行なう予定です。

(工事概要)

R 構造	1 F	480.00㎡
	2 F	444.90㎡

(施行業者)

- ・ 建築本体 中村建設
- ・ 電気 天草設備
- ・ 機械 三和電気設備

現在、内野地区と白木の国道の一部が終わり、中学校前く高浜公民館付近を工事中です。九月から、県道新高浜港線市道小森2号線（堀切交差点付近く八坂神社付近）の工事を予定しています。その後、市道高浜中央線（勤労者体育館付近く中央バス停付近）を計画しています。

管路工事 平成十八年く平成二十四年
 処理場建設 平成二十年く平成二十二年
 一部供用開始 平成二十二年



高浜元向地区・下水道工事(片側交互通行)

地域財産マップ事業講演会

坂元英俊先生



八月七日、高浜公民館において、天草町五地区の振興会関係者多数参加のもと、阿蘇地域振興デザインセンター事務局長・坂元英俊氏を講師に招いて「地域財産マップ」講演会がありました。

講演では、「住むことが誇りになる地域づくり」をテーマに、①何のための地域づくりか、②何のためのイベントか、③地域活性化の本来の意

味は？等々についての講演で、地域の活性化のためには、地域に住む人（私たち）がその良さを認識し、好きになり、誇りに思うことが大切だと話された。

また、地域に住む人（私たち自身）が元気であり、プラス思考で、ほんの些細な身近なものでも良いから好きになり、地元を再発見すべきだと強調されていた。

八月三十一日には、ワークシヨップがあり、様々な意見が出されていた。

移動市長室及び地区座談会

八月三十日、安田公寛市長は、「地域の皆さんの意見を聞きながら、明日からの行政活動に役立てたい。」と天草支所を一日移動市長室とし、職員や地域住民と密着しました。地区座談会は行政区長及びまちづくり協議会委員約三十人が集り、各地区の要望や課題について約九十分活発な意見が交されました。高浜地区の意見は①西天草分署の存

続、②歴史、文化の里としての町づくり、③補助金について又、井戸端会議への市長参加は快く受けて頂きました。かけあしで終った座談会でしたが、市長の話された「合併効果には十年間の時間がかかる。合併効果が見い出せるよう頑張りたい。」複雑な思いがしました。



NHK熊本放送の

DOYO組が歌う

「くまもとの風」白鶴浜でロケ

8月21日午前11時頃撮影

NHKの熊本放送ローカル番組でくまもとの風を高浜白鶴浜で収録、あの童謡歌手DOYO組の2人が出演・ロケを行っていた。

放送時間は、9月14日（金曜日）午後7時30分のくまもとの風で放送

再放送が、9月16日（日曜日）午前8時より放送予定です。



秋祭り

九月九日（日）

★秋の祭り（八幡宮）が行なわれました。

十二時三十分 神事

十三時から行列

★施設作業がありました。

公民館生活部を中心に特別養護老人ホーム春光苑の奉仕作業を行いました。

敬老会開催

日時 九月十七日（月）

午前十時から

場所 天草勤労者体育館

昨年は台風のため中止でした。今年が高浜地区主催で初の敬老会です。

ぜひご参加下さい。

保育園児・高浜小児童
西高太鼓・商工会・老人会
振興会の演芸等が予定されています。

温かい善意の「寄付」
ありがとうございます

(香典返し)

敬称は省略させていただきます。

山田ミチ子(十三忌) 諏訪
川原博道(兆子) 諏訪

心よりご冥福をお祈り
致します

寄付金は高浜振興会の活動に有効に活用させていただきます。

行事予定

十月 クリーン作業月間

七日 地区体育祭

五〜九日 秋の陶芸祭

十一月

十八日 グラウンドゴルフ大会

未定 自主防災会・避難訓練

十二月

二日 史跡巡り

十五日 鳩の峰広報誌

(六号) 発行

カメ物語

竜宮城発！白鶴浜着



私は、アカウミガメです。

六月二十五日に有名な高浜の白鶴浜に産卵のために行って来ました。何故ここを選んだかと言いますと、私は母から白鶴浜で生れたと、聞いておりました。それに母方のおばあちゃん(九十六才)も、この浜でお産したと聞き産卵には、最適の場所と思い、東に向って泳いで来ました。途中、地中海でロープ、針金、ビニール等が足に絡みついて嫌な思いをしながら必死で砂浜に上陸し、乾いた砂の上を歩い

ていると足に衝撃があった。そこには、石段が、出来ていました。右足を少し痛めたが我慢して産卵に安全な場所を探しました。人間に見られると卵を荒らされます。最大の敵は、人間様です？母の話していた砂浜と違っていたので少し悲しくなりましたが、急いで後ろ足で50cm穴を掘りその中に123個産卵して、無事にふ化する事(ふ化まで、約50日かかる予定)を祈りました。私達からのお願いです。今後も海の環境を守って頂き私達が安全に安心して再び産卵に行ける、美しい白鶴浜であってほしいのです。



カメの足跡

石段

階段



カメの産卵

アカウミガメの上陸跡



白鶴浜発！竜宮城行

私の子どもが、あの白鶴浜から無事に帰って来ました。産卵(六月二十五日)から約五十二日目、八月十六日の夜にふ化しました。私から言うのもなんですが、子どもは、可愛くて美人です。

その日は心配になり沖で待つておりました。娘の話では、地元の人々が(約六十名)集まっていて(小ガメ)ふ化して海に帰るまでの様子を皆さんは、協力的で静に見守って励ましてくれましたが、新聞テレビ局の人が照明を勝手に照らして光が眩しくて海水では眼が痛くて涙がでました。私達(カメ)は、明かりより地面を伝わる振動に敏感です。波の音で方向もわかります。今後は、静に取材してもらいたいと娘が言っておりました。



アカウミガメの誕生

編集後記

今年はこのほか暑い毎日でありました。

マスコミでも酷暑とか猛暑とか、各地で熱中症が発生した異常な、夏でありました。しかし、この

暑い中、毎日頑張る高校球児の活躍その中でも優勝した佐賀北高校のがばい魂には誰もが、感動をもらいました。

さて地区振興会で精霊流しを実行致しました。今回初めての試みでしたが、たくさんの方々が見送りに来られ、ご先祖様に合掌できたことは良かったと思います。そして、これが高浜地区の精霊流しがどのように改革されていくのか、地区民の、納得出来る精霊流しに成るよう見守って行かなければと、心に感じた夏の夜でした。

